



2019-20 年度 地区スローガン

伝統と革新
世界はひとつ

創立	昭和 32 年 4 月 19 日
会長	高 橋 靖
会長エレクト	長 谷 川 博 章
副 会 長	米 田 常 彦
	森 川 善 隆
幹 事	豊 田 博 樹
公共イメージ	松 井 大 典



事務局（例会場）

橿原市久米町 652-2 THE KASHIHARA 4F

TEL/0744-28-2801（直通）

FAX/0744-28-2802

E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp

TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

金 曜 日

12 時 30 分～13 時 30 分

Vol. 63 No. 20 (2019-20)

2019(令和元)年 1 月 31 日発行

1 月は、「職業奉仕月間」(Vocational Service Month)です。

第 3050 回例会報告書

2020 (令和 2) 年 1 月 24 日

司会	副 SAA・中野利昭会員
R.song	それこそロータリー
ソング・リーダー	尾上隆志会員

ゲ ス ト

卓話講師：川代久美子氏
橿原 RAC 会長 千装大紀さん

出席報告

正会員 44 名

(1/24)	出席者 29 名	出席率 72.50%
(1/10 補正)	〃 33 名	〃 80.50%

ニコニコ箱

◎本日の卓話に、橿原 RC 書道同好会の講師の川代久美子先生にお願いしております。ご静聴と、書道同好会へのご入会をお願いします。

……………井上輝好会員

◎この度、次男に元気な男の子が生まれました。これで 6 人目の孫になります。……………中林隆男会員

◎会社を久米町から新賀町に移転させて頂きました。
……………仲谷 登会員

◎誕生日お祝い
尾田肇睦会員 (1/26)

◎結婚記念日お祝い
松岡康毅会員 (1/8)

会長挨拶

○皆様こんにちは。1 月も 24 日となり、月日が過ぎるのは早いものだとつくづく思う。巷では風邪やインフルエンザが流行っているようだ。新年会などでお疲れのことと思うので、体調には十分お気を付け頂きたいと思う。

○本来は本年度のことをお話すべきかとは思いますが、次年度理事会が先日開催された。一番初めに行わなければならない、大変重要な人事、スケジュール関係

の協議・報告があった。次年度も多くの大きな事業があるようだ。ロータリーは単年度制で、その年度で考えを変えていく流れである。今年度、いろいろとさせて頂いたことを、長谷川会長エレクトは十分ご理解された上で、次年度の人事、スケジュールをお考えになっていた。本当にありがたいことであり、次年度には私も末席ながら尽力させて頂ければと考えている。次年度に申し伝えさせて頂いたのは、本年度はあと半年弱残っているの、本年度もしっかりと盛り上げて頂きたいということを少し付け加えさせて頂き、次年度理事会は無事終了した。その後、皆様と杯をかわし、大変盛り上がり、次年度も無事に進んでいくことを予想させるひと時だった。

皆様にもそろそろ次年度の役割や与えられた担い等々、お声かけがあるかと思う。その時は是非「頑張れよ」と言って頂き、次年度へのお力添えを頂きたいと考えている。次年度が明るい年になることを祈念し、そして本年度の残り半年弱をしっかりと力を尽くしていくことをお誓いし、本日の挨拶とさせて頂く。

幹事報告

△1 月誕生日

鍵岡正隆会員 (1/12) 好川嘉則会員 (1/1)

尾田肇睦会員 (1/26) 辻田真海会員 (1/4)

吉川弘晃会員 (1/12) 林田一真会員 (1/19)

△1 月結婚記念日

松岡康毅会員 (1/8) 仲谷 登会員 (1/17)

△1 月入会

辻田真海会員 (15 年)

△地区より、2022-23 年度地区ガバナーに、近江八幡 RC の尾賀康裕氏が決定したとの通知があった。

※詳細は掲示板にて。

△クラブに届いた年賀状を掲示板に貼り出しているの
でご覧頂きたい。

△平城京 RC より届いた、NPO 法人奈良国際協力サポーター主催の講演会のご案内を掲示板に貼り出しているの、興味のある方はご覧頂きたい。

△例会変更ほか（詳細は掲示板にて。）

四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

- ・やまと西和 RC
 - ①3月31日(火) 観桜会の為、変更
→3月28日(土) 18:30～ 於：大阪
※ビジター受付は3月31日(火) 12:00～12:30
までまさごビル3Fにて。
 - ②4月7日(火) 地区大会に変更
※ビジター受付は4月7日(火) 12:00～12:30
までまさごビル3Fにて。
- ・大和高田 RC
 - 2月11日(火)・3月10日(火) 休会
※両日ともビジター受付なし。

委員会報告

- 青少年奉仕委員会：河村善一委員長
 - ・移動例会について
日時：2月21日(金) 10時30分
THE KASHIHARA 玄関前 集合
訪問先：社会福祉法人 飛鳥学院
本日ご案内をポスティングさせて頂いた。青少年の理解を深める目的で、私の勤務先である児童福祉施設の飛鳥学院への見学を移動例会として企画させて頂いた。理事長である私の父もやる気満々でお待ちしているので、奮ってご参加頂くようよろしくお願ひしたい。
- 公共イメージ委員会：松井大典委員長
 - ・クラブの公式LINEグループについて
昨日、クラブの公式LINEグループを作成した。クラブからの連絡は従来通りFAX・メールにてお送りするが、補助的な役割として、また緊急を要する内容の際などに、連絡手段の一つとして活用できればと考えている。現在のところ、20名の方にグループに入って頂いている。LINEをされている方は是非グループに入って頂ければと思う。
- プログラム委員会：尾上隆志委員長
 - ・地区大会について
4月5日(日)に今年度地区大会が開催されるが、今年度は例会扱いとさせて頂く。今回はバスを準備し、清水寺を散策し、昼食にフレンチを食べ、地区大会の会場へ向かう。行き・帰り共にバスを準備しているので、身一つでご参加頂けるかと思う。また、今回が増田ガバナー補佐の任期の最後の地区大会となるので、奮ってご参加頂くようよろしくお願ひしたい。現在のところ、25名の方からご参加とのお返事を頂いているが、お返事がまだの方、参加をご検討中の方は、まだ受付可能なので是非ご検討頂き、私 尾上までお申し出頂きたい。
- 榎原 RAC：千装大紀会長
 - 皆様こんにちは。ご挨拶が遅くなり、申し訳ございません。本年もよろしくお願ひ致します。
私の年度も残り半年となり、これまでの半年はクラブ運営などで学ぶ点があった。その点をしっかりと反省し、改善して残り半年、全力で走っていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。
通常の例会に加え、4月26日には地区行事のホス

トも控えている。平田さんにお力添えを頂き、榎原学院高校・奈良芸術短期大学で開催させて頂くこととなった。当日も榎原 RC の皆様にご助力頂きたくお願ひ申し上げる。

最後に榎原 RAC の1月例会のご案内をさせて頂く。1月第2例会は社会奉仕委員会担当で、「食育～柿の葉寿司作り体験例会～」を1月25日(土) 15時から、場所は「柿の葉寿司のみざさ 中谷本舗 田原本店」にて開催する。皆様のご登録をお待ちしている。

卓 話

担当：プログラム委員会
講師：川代久美子氏



「書に親しむ」

まず、私が書を志すきっかけとなったのは、中学3年生の終わりごろ、当時授業でお習字を教えて下さっていた先生が定年退職されるにあたり、私達3年生だけを集めて書道のお話をして下さいました。その時のお話は全く覚えてないのですが、その時に今まで見たことのない大きな紙に太い筆で俳句を一句、さらさら～と書いて見せて下さいました。私は仮名の作品も知らなければ、大きい筆で書く仮名も見たことがなく、「なんてステキなんだろう！こんなの見たことない」と衝撃を受け、高校生になったらこの先生に習いに行き、書道の先生になろう！と思いました。それが私がこの道に進むきっかけとなりました。今振り返ると、その体験がなければ、今、自分は筆を持っていないと思います。

皆様よくご存知のことですが、私達の使っている文字は、元々は自分達の意志や言葉を相手に伝えたり、記録する為の手段として生まれたものです。中国で生まれた漢字が日本に伝わって、初めは漢字をあて字のように使っていたのですが、やがてより自分達のことばに合った平仮名を、漢字を加工して日本独自のものとして作りました。さらにはカタカナも作り、日本の文字は今日に至っています。この独自のかな文字がなかったら、源氏物語など世界に誇れる作品の登場もなかっただろうと言われていました。

元々は通じれば事足りていた文字ですが、いつの間にか人々の美意識が加わって、文字を書という芸術にまで高めました。

書とは、元々は実用的に書写されていた文字にだんだんと美意識が生まれ、芸術的な表現が加わって美的

鑑賞の対象となったものです。

さて皆さんは普段の生活の中で、習字と書道という2通りの呼び名を聞くとと思いますが、この二つ、一緒なのか違うのか、どうでしょうか。このように言う「ああ、習字と書道は違うんだろなあ」と思いませんか。はい、違うんです。

皆様は、習字は全員経験があたりだと思いませんか。しかし、書道は経験者が少ないと思いませんか。

まず、習字は小学校、中学校までの書写教育、国語の分野に入ります。美しい文字を手本通りに正しく整えて書く、文字通り書を習うことです。それに対して書道は、高校からの芸術の分野に入り、文字を通して自己を表現する、書の道です。両者の共通点は「筆を使って美しく文字を書く」ことではありますが、「美しく」の捉え方は習字と書道では異なります。

作品例を見て頂くと、習字と書道の違いが良く分かって頂けるのではないかと思います。同じ作家であっても大きく違うので、言葉を作品にする時の思いの違いを表現しています。習字は全員が同じように書きますが、書道は個性が出て良いわけで、一人一人が違って当然なわけです。ですので、樫原 RC での書道同好会では、お手本は一応書きますが、手本通りにならなくても良いわけで、各自の持ち味を重視しており、それ程細かくはなしません。いろいろな書き方に慣れる作業を中心に書いて頂いています。そこから各自の特性を生かした作品が書けるようにと思っています。

書道は、剣道、柔道、華道、茶道など「道」の名の付くものと同じく、精神性をも求められるもので、自己の内面を磨き、その内側から出てくるものを文字を使って表現する、日本らしい、また、誰もが気軽に始められる芸術と言えます。

「書は人なり」とは、書の道を志す人がよく言う言葉ですが、何を書いてもその人が出ます。不思議なものです。

さて、書道は文字を使った自己表現の芸術だと申し上げましたが、誰もがいきなり素晴らしい作品を書けるわけではありません。習字から出発して、それなりの基本練習も必要です。

例えばスポーツ、皆さんの中にはゴルフをされている方もいらっしゃると思いますが、いきなりプレーをされる訳ではないと思います。普段から歩いて体力をつけたり、素振りをしたり、打ちっぱなしに行ったりされていると思います。初めはどんなクラブや道具でも良かったのが、だんだんと自分に合った道具を探しませんか。有名なゴルフプレイヤーのビデオを見て、上手くなるために自分なりに研究したり、自分のプレーを助けてくれるための工夫をしたりされていると思います。書道も同じです。筆をいかに上手く使いこなすかが大切なので、筆を使うことが日常だった時代、例えば平安時代の書、空海の書など、いろいろなものを手本にして、さまざまな技法を身に付けます。また、表現を助けてくれる筆、墨、硯、紙などを選びます。

私は書道の中でも「かな」を専門にしていますが、書道は大きく分けて漢字、かな、篆刻という三つの分野に分かれ、さらに近年では、展覧会に行っても何が書いてあるのか分からないということへのアプローチとして、調和体という読める書への挑戦にも力を入れています。

さて、皆さんは日本画や洋画の展覧会は見に行っても書の展覧会にわざわざ足を運ぶ方は少ないと思います。理由は見ても何が書いてあるのか分からない、読めないからではないでしょうか。

そこで、私の専門の「かな」に絞って、書の作品の楽しみ方をお話したいと思います。

まず、ジャンルを問わず、作品は読みません。絵のように見えます。まずは全体の流れを見ます。書の作品は墨の黒一色で書くので、墨の量の変化でかすれる所を作って遠近感や強弱を表します。また線の太さ細さでも遠近感や強弱を表します。そして文字のない部分、「余白」と言いますが、それが美しく見える作品が良いとされています。紙面に対してどのような文字サイズでどのような構成で書かれているかで余白の美が決まります。そして文字の造形にも工夫があります。縦長の文字の横には横広の文字、あっさりした文字の横には複雑な文字など、いろいろな工夫がされています。

書には 3000 年の歴史があり、その間に優れた名人が出て、数々の名品を残しています。私達書を学ぶ者は、古人がいろいろと工夫したあとや表現する為のノウハウや精神などを古典などから学びとり、伝統を生かして今の時代にふさわしい自分の持ち味を生かした作品を作ろうと試みています。皆さんは自分がやる側ではなくても、スポーツ観戦や映画鑑賞など、見る側の趣味はお持ちだと思います。書も、書くのは苦手だけど見るのは好き、そんな風に思っただけなら嬉しいと思っております。

【例会ご案内】

2月7日(金)《第1例会》

担当：会員増強委員会・プログラム委員会

2月14日(金)

休会

2月21日(金)《第2例会》

移動例会

(於：社会福祉法人 飛鳥学院)

担当：青少年奉仕委員会

2月28日(金)《第3例会》

「審査請求制度と査察制度について」

公益社団法人 葛城納税協会 専務理事 岡本慎太郎氏

担当：小林隆男会員

【同好会】

書道同好会

1月31日(金)・

2月7日(金)・3月13日(金)

午後2時～ 於：4階 楓の間

【RAC 例会】

【樫原オークホテルにて、午後8時～9時15分】

2月12日(水)《第1例会》

国際奉仕◎

2月26日(水)《第2例会》

専門能力◎

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。